

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

6月市議会定例会報告

平成28年第3回市議会定例会は、6月10日から24日までの15日間の会期で開かれました。

本定例会では、「請負契約締結について」3議案（高崎文化芸術センター（仮称）建設工事）・（高崎市城南運動場立体駐車場建設工事）・（高崎駅西口ペデストリアンデッキ築造工事（第2工区））、「土地取得について」、「高崎市公園条例の一部改正について」、「平成28年度高崎市一般会計補正予算」（第2号）・（第3号）などの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

～平成28年度一般会計補正予算を可決～

歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億2,491万円を追加し、総額を1,641億9,301万円としました。高崎アリーナ建設事業[新体育館建設事業の名称変更]の建設等工事に9億8,000万円、教育費の自然体験活動施設整備事業に4千600万円が計上されました。増額の理由は、野外炊飯施設等整備工事とバリアフリー等改修工事が必要となったためです。

さらに、補正予算（第3号）により、防犯カメラ借上料の102万円やごみステーション見守りカメラ借上料の637万円などが追加され、歳入歳出予算の金額は、1,642億775万円となりました。

各常任委員会と都市集客施設建設調査特別委員会が開催され、付託議案や所管部分の補正予算などの審査・調査を詳細に行いました。

7月から『高崎財団』に名称変更

高崎市文化スポーツ振興財団は、7月から名称を「公益財団法人高崎財団」に変更しました。

2017年の高崎アリーナ、2019年の文化芸術センターの開館、2020年の東京オリンピック開催などを契機に国際水準の機能を持つ都市施設を活用し、新しい高崎を創造していくための魅力ある事業の展開を目指します！



六月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十二人の議員が行い、高橋みなおは四日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

児童相談所に対する本市の考え方

質問 深刻化する児童虐待問題に対応するため、児童相談所（児相）を増やすことを目指す改正児童法が成立した。早期発見と適切な対応のため、各自治体は支援体制に力を入れていますが、本市における相談件数や市と児相における現在の連携状況は。

答弁 二十七年度は、本市への相談等が五十六件、西部児童相談所が二百四十八件の計二〇四件である。情報共有と支援体制の充実を図るため関係機関の対象者が会議を継続して行っている。

質問 特別区や中核市へ児相を設置するため、児童福祉法の改正が行われたが、本市の児相設置についての考え方は。

答弁 検討規定という形で、政府が今回の改正後五年を目途に設置ができるよう、支援や必要な措置を講ずるという規定が設けられ

た。財源確保、専門職の人材確保と育成など課題も多いので、国の支援策に注視したい。

質問 整備中の「子育てなんでもセンター（仮称）」において児童に関する虐待等への取り組みは行われるのか。

「ごみ行政と市民協働について

質問 ごみ問題については、さまざまな啓発活動を行っているが、企業や市民団体との協働が大切と考える。たかさき環境パートナーシップ会議の活動でハルヒルの応援後に美化活動を行ったと報道があったが、今後どのような取り組みをしていくのか。

答弁 国際交流と地球環境への貢献を目的に活動してきた地球市民環境会議が前身であり、六十四の市民団体や企業で構成されている。分別ルールや環境施設の見学などにより理解を深め、今後は若い世代に環境意識を高めてもらえるよう参画を推進していきたい。

質問 市民協働ということでは、環境保健協議会の存在が大きいと考えるが、役員の担い手不足など課題も多い。行政との連携や協力につい

てどのような取り組みをしていくのか。

答弁 各町内会を支部と位置づけ、市全体で五百二十九名の支部長にお願いをしている。ごみ行政については、協議会の協力が大変重要であることから、環境パトロールなどを実施し問題解決に取り組んでいく。

質問 ごみの分別において重点的に取り組んでいることは何か。また、市民のモラルを向上させるための対策への考えは。

答弁 「雑がみの分別」と「生ごみの水きり」を大きな課題と捉えている。マナー違反については警告の貼紙やごみステーション見守りカメラの設置を進めている。

質問 高浜や吉井クリーンセンターへの直接搬入も多いが、事業系ごみの業者への指導や不法投棄への対応は。

答弁 指導強化と市外からの搬入車両の中身を確認する検査を実施している。早期発見・早期是正のため監視体制の強化を図り、警察との連携を密にして対応している。

♪ 後記 ♪

東京五輪・パラリンピックの参加国の事前合宿受け入れや交流を進める「ホストタウン」に本市がポランドを相手に登録されました。5月に来高し、多くの市民が浜川体育館で一般公開された練習に感動したことでしよう。東部地区のママさんバレーも熱心に活動しているので、ますます頑張ってもらいたいと願っています。